

10. ブラックフェアリーの23年産

牝

父：ビッグアーサー	母の父：ヴィクトワールピサ
2023年3月13日生(鹿毛)	栗東・東田明士厩舎 入厩予定
生産：(有)ビクトリーホースランチ	繋養牧場：(有)ビクトリーホースランチ
全400口 総額1,000万円／一口出資金25,000円／月々の維持費 1,750円／1口	



ビッグアーサー 鹿毛 2011年	サクラバクシンオー 鹿毛 1989年	サクラユタカオー
		サクラハゴロモ
ブラックフェアリー 青毛 2016年	シヤボナ(USA) 鹿毛 2005年	Kingmambo(USA)
		Relish(IRE)
ブラックフェアリー 青毛 2016年	ヴィクトワールピサ 黒鹿毛 2007年	ネオユニヴァース
		ホワイトウォーターアフェア(GB)
	タイキエイワン 黒鹿毛 2007年	フサイチコンコルド
		ヤエノジョオー

Mr. Prospector:S4×M5 Sadler's Wells:S4×M5 Northern Dancer:S5×S5

Family Line

母 ブラックフェアリー

[東海]2勝[南関東]入着7回、本馬は第2仔

祖母 タイキエイワン

3勝
タイキメサイア:2勝[東海]2勝
タイキワンダラス:[北海道]3勝[東海]6勝[佐賀]5勝
アヴォロンティ:[岩手]3勝[佐賀]4勝、現役
ディクレアブルーム:1勝、現役

曾祖母 ヤエノジョオー

7勝 シーサイドS(JPN3)2着、タイムス杯(OP)
マイオトメ:2勝
タイキパーシヴァル:5勝

4代母 リンクスオブゴールド(USA)

米4勝
リンクスオブタイム:5勝
[曾孫]タイキダイヤモンド:3勝

5代母 State Treasure(USA)

米1勝
[孫]デインジャークロコダイル:米18勝
Timeless Twister:米4勝

Broodmare Sire

母の父 ヴィクトワールピサ

2007年生 黒鹿毛 千歳産
【競走成績】
国内:12戦7勝 海外:3戦1勝
ドバイワールドC(G1)、皐月賞(G2)、有馬記念(G1)

【母の父として】
アートハウス:ローズS(G2)
オニャンコポン:京成杯(G3)
ラブリュアアイズ:阪神JF(G1)2着
ウォーターリヒト:きさらぎ賞(G3)2着

Trainer 東田明士 調教師(栗東)

1988年9月27日生 滋賀県出身
2024年免許取得 2025年開業予定 ※成績は2024年6月30日現在

2013年10月 JRA競馬学校 厩務員課程入学
2015年3月 調教助手(栗東・池添兼雄厩舎)
2023年3月 調教助手(栗東・緒方努厩舎)

Sire

父 ビッグアーサー

2011年生 鹿毛 荻伏産
【競走成績】
国内:14戦8勝 海外:1戦0勝
高松宮記念(G1)、セントウルS(G2)、
京成杯(G3)2着、北九州記念(G3)2着

【直近3年の種付頭数】
2021年107頭、2022年85頭、2023年155頭

【代表産駒】
トウシンマカオ:オーシャンS(G3)
フトンドール:函館2歳S(G3)
ビッグシーザー:淀短距離S(L)



©株式会社 ジェイエス

(有)大樹ファーム 荻野豊代表のコメント

トリを飾るのはブラックフェアリーの23年産。父ビッグアーサーらしいギュッとしたシルエットで、馬通りの良い鹿毛の女の子です。特に丸みを帯びたトモはいかにも力がありそうで、ダッシュの効いた走りを想起させますね。性格は、母系の特徴とも言える気持ちの強い”我是第一”タイプで、当然のように群れのボスに君臨していました。この辺りは祖母から代々受け継がれている英才教育の賜物でしょうか。見た目通り歩様は力強くキビキビとしており、心身ともに短距離戦に向いていそうな要素が揃っています。配合の意図としても、当然1200～1400m辺りでの活躍を想定していて、実際にその見込み通りに育ってくれていて安心しています。仕上がりやや時間がかかる傾向がある牝系ですが、本馬はつくりもしっかりしていますし、ある程度早めから動けそうなイメージを持っています。